

令和 8 年度保健師研修会 開催報告

7月11日(土)に岩手県看護研修センターにおいて、「変革の時代に求められる保健活動」をテーマに研修会を開催しました。今年度、初めてハイブリッド開催とし、参集20名、オンライン36名の計56名が参加しました。

第1部では、北海道大学・富山県立大学 名誉教授 佐伯和子氏をお招きし、「保健師の原点とこれから～専門職としての価値を見つめ直す～」をテーマに、公衆衛生看護を担う保健師の活動の原点や本質、医療職・専門職・行政職としての今後についてご講演いただきました。「将来を見据えた予防活動」「すべての人たちの健康と生活」という原点と本質を再確認するとともに、「個人の人権の保障と安心安全な地域社会」の実現に向けて活動を広げていく必要性を認識する機会となりました。また、変革の時代に求められる役割を果たすためには、全員が成長できる人材育成の推進が重要であり、「未来を見つめてチームみんなで人材育成」がキーワードであるとお話いただきました。

第2部では、奥州市健康こども部健康増進課 保健師長 高橋真美子氏、課長補佐兼地域医療係長 及川香氏から「奥州市プレコンセプションケアの取組について」と題し、保健師活動の実践報告をいただきました。既存事業で見えてきた課題や住民ニーズに対応するため新規事業として立ち上げた経緯、一般企業との連携、今後の事業展開などについて紹介され、先駆的な取組を学ぶ機会となりました。



佐伯和子先生



奥州市 高橋真美子氏(左)、及川香氏(右)